

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講 師 東京大学大学院 医学系研究科
病因・病理学専攻 免疫学講座
教授 高柳 広 先生
2. 演 題 骨免疫学の最前線
3. 日 時 平成29年10月5日(木)17:30～19:30
4. 場 所 M&Dタワー 2階 共用講義室1
5. 抄 録

骨代謝と免疫の境界領域である骨免疫学は、炎症性骨破壊疾患である関節リウマチの骨破壊の研究に端を発するが、免疫系ノックアウトマウスの解析や骨髄における造血幹細胞の研究など幅広く発展しつつある。典型的な骨免疫分子である RANKL は骨および免疫で幅広い機能が明らかにされてきたが、最近、腸管免疫で重要な M 細胞誘導細胞を決定することも解明された(1)。このような骨免疫学の最新の知見に加えて、胸腺髄質における組織抗原誘導機構と胸腺皮質における胸腺プロテアソーム変異と自己免疫についても述べる(2)。

(1) [Nat Immunol.](#) 2017 Jun;18(6):675–682.

(2) [Science Immunology](#) 02 Jun 2017:Vol. 2, Issue 12, eaan5165

連絡先: 中島 友紀 (分子情報伝達学分野 内線5472)